



## 広島社会見学・交流会

9月28日(火)広島県の帰国者を対象に社会見学交流会を開きました。38人の帰国者が、県中央部にある世羅高原で、午前中は色鮮やかなダリアの花畑を散策し、午後は観光農園で、集荷場を見学した後、みずみずしい大きな梨の収穫を楽しみました。秋空の下、実りの秋を体感し、楽しい交流会となりました。



## 高知県企業見学・交流会

10月2日(土)高知県企業見学・交流会を開き、帰国者45人が参加しました。愛媛県にある調味料メーカー、日本食研の工場見学をしました。宮殿のような立派な工場では原材料や加工工程についての説明を聞き、厳しく衛生管理された生産過程について理解を深めました。工場が広く、見学するのが大変でしたが、食の安全について学ぶことができた1日でした。その後、道後温泉で入浴のマナーを学びながらリラックスしました。



## 歌のクラス交流会

10月7日(木)センターで開講している日本語の歌のクラスの受講生が2クラス合同で交流会を開き、日頃教室で習っている歌を互いに披露しました。この交流会は今年で2回目、去年に比べると、日本語で歌える歌が増えました。教室でプリントを見ながら歌うのとは違い、本物のカラオケでは振り仮名がないこともあります。もっともっと練習しなければ!と日本語学習に向けて気持ちを新たにしました。



## 島根県社会見学交流会

10月23日(土)島根県の帰国者を対象に宮島で交流会を開き、22人が参加しました。宮島では、杓子の歴史について熱心に説明を聞いた後、好みの焼印を押してオリジナルの杓子作りを体験し、思い出の品となりました。その後、全員で、厳島神社に参拝し、秋の宮島をゆっくり散策しながら、景色を楽しみました。



## 新聞紙リサイクル講座

11月8日(月)22日(月)当センターで新聞紙リサイクル講座を開き、合計25人の帰国者が、古新聞を使ったエコバックの作り方を学びました。そのまま捨てればただのゴミになる新聞が、広告を上手に使うことでかわいいバックに変身。作業しながら、一人ひとりが環境について考える機会を持つことができました。



## 愛媛県社会見学交流会

11月13日(土)愛媛県の帰国者を対象に交流会を開き、20人が参加、お隣の香川県で手打ちうどん体験をしました。教室では、先生の指導のもとみんな一生懸命こねて美味しいうどんができました。帰りに善通寺に参拝をし、道の駅で温泉体験をしました。帰国者同士の交流も深まり、とても楽しい時間を過ごしました。



## 中国残留邦人等実態調査 結果報告

昨年、中国残留邦人等6,020人を対象に実態調査が行われ、このほどその結果が発表されました。これによると、帰国者の平均年齢は71.6歳、帰国して「良かった」「まあ良かった」という回答は、前回調査より12ポイント増えての約77%となりました。平成20年度から実施している新たな支援策については、「満足」「やや満足」と回答した人が約75%で、一定の効果があがっていることがうかがえます。収入が増え、気持ちのゆとりができたこと、役所窓口の対応が良くなったことが満足度につながったようです。

## 地域で活躍する中国帰国者 ~高知県 中嶋容子さん~

私が住んでいる団地は、出かけるには不便な山のうえにあり、外出はいつも家族や友人を頼りにしていましたが、日本での生活が長くなるにつれて、日本語もだんだん分かるようになり、自分の力を試してみたい、車の免許を取りたいという気持ちが少しずつ大きくなりました。とはいっても、もう60代、若くはないし、体調も良くないので、家族全員が反対しました。でも、中国では営業の仕事をしていて外出が好きでしたし、運転ができれば生活圏が広がるからと説得しました。

勉強は楽ではありませんでした。日本語の教科書を見ながら自分で勉強し、分からないところは子どもに教えてもらいました。車や交通に関する特別な用語が多く、日本語の難しさを改めて感じました。

運転技術は問題ありませんでしたが、日本語が壁となって、学科試験は3回も受け、昨年2月にやっと合格しました。生活は便利になり、日本語にも自信ができました。以前は人に頼ってばかりでしたが、友だちを助けてあげることもできるようになりました。日本語が上手でなくても、決意と根気は必要です。目標に向かって諦めずに努力すればきっと達成することができると、免許の取得を通して実感しました。



## 投稿

岡山県の高見素美恵さんが5月の社会見学交流会、原爆資料館見学の感想を詩にしてくれました。

## 広島平和記念館見学

平和記念館に足を踏み入れると  
惨状が目飛び込んだ  
人間の想像を絶する惨事  
目のあたりにして心は乱れ、  
憤りは天を突く

昔を思えば、今は幸せ  
水を飲む時、その水源に思いをはせる  
人々は、平和を愛し、勤勉である  
戦争をなくし、平和を守ろう

慰霊碑の前で手を合わせ  
英霊の冥福を祈る  
世界中の民は団結し  
核の脅威に立ち向かおう

センターの行事は  
日本社会への理解を促してくれる  
一人ひとりの小さな努力が、  
やがて国を動かし、世界を動かす  
戦争に反対し、平和を保とう

## 12月・1月の予定

- 12月9・10日 定着促進C出身者交流会
- 12月13日 正月しめ飾りづくり【広島市】
- 12月17日 岡山地域帰国者教室【岡山市】

1月23日 岩国地域帰国者教室【岩国市】

## 投稿募集

みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか?原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。

みなさまからの記事をお待ちしています。

## 編集後記

皆さんサルサを知っていますか?キューバで生まれた音楽で、現在ダンスミュージックとして発展しています。いろいろな技を組み合わせで踊り、今ラテン音楽の中で一番ホットなものです。

今センターでは昼休みを利用して橋本先生がサルサを教えてくださいます。音楽を聴きながら、リズムに合わせて踊るのは、楽しくて健康にもいいです。皆さんも一緒に踊ってみませんか。(松葉)

第21号

平成22年12月1日 发行  
(双月发行/年6回)

【发行者】

中国·四国中国归国者支援·交流中心

社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会  
〒732-0816 广岛市南区比治山本町12-2  
TEL 082-250-0210  
FAX 082-254-2464  
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp



### 广岛社会观摩·交流会

9月28日(周二)以广岛县归国者为对象举办了社会观摩交流会。共计38人参加,本次活动地点在县中部的世罗高原,上午在赏心悦目的大丽花园散步,下午来到观光农园,先观摩了果园的选果场,之后一起收获了许多汁液甜美的大梨。在这秋高气爽之际,体会了金秋的收获,这次交流会让大家心满意足。



### 高知县企业参观学习·交流会

10月2日(周六)举办了高知县企业参观学习·交流会,共有45名归国者参加。这次去观摩了爱媛县专门制造调味料的知名企业「日本食研」。工场的外观俨然宫殿一般,听了从原材料到加工过程的介绍,大家更深的感受到了食品生产过程中卫生管理的严格性。工场的占地面积十分宽阔,一天的参观学习也应该说是较为辛苦,但是借此让大家有了学习食品卫生的机会。之后,还带大家去了道后温泉一暖身心。



### 歌谣讲座交流会

10月7日(周四)中心开设的两个日语歌谣讲座的学员一起举办了歌谣交流会。会上大家互相展露了平时在日语教室所学的歌曲。今年的这次活动已经是第2次歌谣交流会了,所以与去年相比,会唱的日语歌曲增加了很多。平时在教室总是看着有注音的歌谱唱歌,来到卡拉OK厅后发现有不少歌曲没有注音,这使大家感到还应继续努力、多练习,加强了大家学习日语的劲头。



### 岛根县社会观摩交流会

10月23日(周六)以岛根县归国者为对象,在宫岛举办了本次交流会。共计22人参加。在宫岛,大家认真的听讲了木勺的历史过程介绍,然后体验了木勺制做,在木勺上烙上花样,制做出别具风格的木勺,以做纪念。之后,一起参拜了严岛神社,悠游自在的观赏了秋天的宫岛美景。



### 旧报纸再利用讲座

11月8日(周一)·22日(周一)分两次在中心举办了旧报纸再利用讲座,共计25名归国者参加,通过学习,大家使用旧报纸制做了环保购物袋。旧报纸就这样扔掉只能是垃圾,可是如果巧妙的利用报纸的广告版面,旧报纸就能变身为可爱的购物袋。每个人通过学做纸袋,加强了环保意识。



### 爱媛县社会观摩交流会

11月13日(周六)以爱媛县的归国者为对象举办的这次交流会,有20名参加者。和大家来到临县的香川,一起学做了乌冬面。在面业所老师傅的指导下,大家投入全力擀制出了劲道美味的面条。其后,参拜了善通寺,又到路边站进行了温泉体验。借着这次活动既加深了归国者间的交流,又一起欢度了宝贵的时光。



## 中国残留邦人等实情调查 结果汇报

去年,以中国残留邦人等6,020人为对象进行的实情调查结果已经发表。在此向大家做以简单汇报。根据调查结果显示,归国者的平均年龄为71.6岁。调查结果中对回到日本后感到「很好」「还可以」的回答比前一次的调查结果增加了12个百分点约为77%。对平成20年度开始实施的新支援政策,回答「满意」「比较满意」的人约为75%,可以说收到了一定的效果。对收入增加,生活有了一定宽松度,还有政府行政窗口的对应态度有所改善使大家满意度有所提高。

### 活跃于当地的中国归国者

~高知县 中岛容子女士~

我所住的团地位于山上,外出时交通极为不便,平时总是靠家里人或朋友带我外出。随着在日本生活年数的增加,日语也自然有了一定的进步。多少抱着考验一下自己日语能力的想法,渐渐有了报考驾驶执照的念头。但是,毕竟已经过了60岁,身体状况也不是很好,所以家里人都不同意我报考驾照一事。可是,以前在中国我从事的是销售员的工作,本身就比较喜欢外出,如果可以自己驾车,生活范围也会扩大,为此我说服了家里人。



学习过程比我想像的要难很多。利用发给的日语教材回家后再自学,遇到不懂的地方就去问子女。关于汽车和交通守则的专用术语特别的多,让我再次感到了日语的难度。

在驾驶技术方面没有什么问题,一次就考过关了。可是在日语方面就遇到了难关,笔答考试一共考了3次才合格。拿到了驾照后,让我感到生活比以前方便多了,对自己的日语能力也有了自信。以前总是依赖别人,现在我也能帮上朋友们了。所以我感到,即使日语不是很好,只要有决心和毅力,坚持不懈的努力,一定会实现自己的目标。这都是我通过取得驾驶执照所得的实际体会。

### 投稿

冈山县的高见素美惠女士参加了5月的社会观摩会。对原爆资料馆观摩后感而发,做此诗。

#### 观摩广岛和平纪念馆

走进和平纪念馆,  
悲惨景象映眼帘。  
人类史上遭横祸,  
触目惊心恨冲天。

过去苦呀今日甜,  
饮水思源记心间。  
人爱和平勤劳动,  
消灭战争保安全。

原爆墓前合起掌,  
祝愿英灵多安详。  
世界人民团结紧,  
反对核霸逞凶狂。

支援中心想的全,  
社会教育最优先。  
家事国事天下事,  
反对战争保平安。

## 12月·1月预定

12月9·10日 定着促进中心结业者交流会

12月13日 学做正月门饰〔广岛市〕

12月25日 冈山地区归国者教室〔冈山市〕

1月23日 岩国地区归国者教室〔岩国市〕

### 征集投稿

向大家征集稿件。内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?原稿的字数限400字以内,投稿方式可以是直接送到中心,或者是邮寄、传真均可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

### 编辑后记

大家知道拉丁音乐莎莎(salsa)吗?它起源于古巴,现在主要是做为拉丁舞曲来使用。通过各种舞蹈技巧的组合,现在已成为最热门的拉丁音乐。

每天在中心,由桥本老师利用午休时间来教大家跳莎莎舞。边听着舞曲,边随着节奏起舞,既欢快又有益健康。大家也不妨来试着跳一跳吧!(松叶)